

東京都立芝商業高等学校商業科 技能スタンダード(平成28年度)

商業に関する学科		★		☆☆	☆☆☆	関連する 主な科目
		基礎	標準	応用	発展	
ねらい		<ul style="list-style-type: none"> ・商業に関する基礎的・基本的な技術・技能の習得 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術・技能の習得 ・ビジネスの意義や役割について理解し、地域の産業・社会を担う人材に必要な技術・技能の習得 ・望ましい勤労観・職業観などの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のスペシャリストに必要な技術・技能の習得 ・ビジネスの諸活動を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって行うことができる人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来のスペシャリストに必要な技術・技能の習得 ・経済社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を身に付け、グローバル化に対応できる人材の育成 	
共通	課題を探究し解決する力 自ら考え行動し適応していく力 コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた課題を解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら課題を発見し、自分の力で解決することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域や商店の課題を発見し、様々な人と相談・協力して解決を図ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商業に関する新しいアイデアなどを考え、研究することができる。 	ビジネス基礎 課題研究 総合実践 ビジネス実務
		<ul style="list-style-type: none"> ・指定された課題について、レポートを作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して、論理的で、図表などを混ぜて視覚的にも分かりやすいレポートを作成することができる。 			
		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見や考えを言葉や、図表などを用いて他人に確実に伝えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の成果と課題などについて、図、グラフなどを活用した、効果的なプレゼンテーション資料を作成し、発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の成果や課題などについて、冊子やインターネットなどにより地域や企業などに向けて発信することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題研究の成果や活動報告などについて、ビジネス系コンクールや専門誌などに応募できる力を備えている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・グループ内やクラス内で発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年集会や全校集会など学校内で発表することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス系コンクール(東京都大会)などに出場し、発表できる力を備えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネス系コンクール(全国大会)などに出場し、発表できる力を備えている。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・少人数のグループなどで議論し、自分の意見を述べるができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の考えを理解・尊重し、論理的に賛成・反対などの意見を述べるができる。 			
	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの必要性を理解し、ビジネスの場面に応じた言葉の使い方、話の聞き方、話し方、表情などができる。 ・コミュニケーションを円滑にするために、相手を尊重しながら、自分の意志を伝えることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・自らの意思を相手に伝える有効な方法を理解するとともに、効果的に活用することができる。 			
	望ましい勤労観・職業観や規範意識などに根ざした実践力	<ul style="list-style-type: none"> ・校外学習や就業体験などを通して、望ましい勤労観・職業観を身に付けることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・就業体験などを通して、高い勤労観・職業観や実践的な技術・技能を身に付けることができる。 		
		<ul style="list-style-type: none"> ・各科目において習得した技術を生かして、企業・地域・学校等との交流や研究活動などに取り組むことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・企業や地域と連携した研究活動などにおいて、身に付けた技術を地域などに還元することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業や地域と連携した研究活動などを通して、開発した商品を販売することができる。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権や個人情報などの法令などを日常の学習に当てはめて活用することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や知的財産権に関する法令などを遵守し、自ら率先して行動することができる。 		
	情報やコンピュータの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍やインターネットなどから有用な情報を収集することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人情報や知的財産の保護などに留意し、情報を活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有用な情報を地域に発信することができる。 		
<ul style="list-style-type: none"> ・文書作成ソフトや表計算ソフトを活用して、文書の作成や基本的な表及びデータに適したグラフの作成ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションソフトを活用して発表用スライド・資料を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々なソフトを活用して効果的なプレゼンテーションを行うことができる。 			

		★		★★	★★★	関連する 主な科目
		基礎	標準	応用	発展	
マーケティング分野	マーケティング	・マーケティングの一連の流れを理解し、消費者ニーズの変化や価格設定、店舗運営、販売促進活動などについて、マーケティング管理の視点で観察することができる。	・企業におけるマーケティング活動の具体的な事例についてケーススタディなどを通して学び、マーケティング戦略の実際を理解するとともに、業種や企業による共通点や相違点、課題などについて考察することができる。	・市場調査や販売計画、商品管理、価格設定、販売促進などの一連の活動に関して、実際の企業や地域の小売店のマーケティング活動と関連付けて考察し、自ら発見した課題への解決策を考えてレポートにまとめたり、提案したりすることができる。	・課題研究や商業系部活動、模擬株式会社、デパート形式の文化祭、その他現場実習などの活動を通して、実際の店舗運営を行ったり、外部機関から広告・宣伝業務や商品企画業務を請け負ったりするなど、マーケティングに関する総合的な知識・技術を活用することができる。	ビジネス基礎 課題研究 総合実践 ビジネス実務 マーケティング 商品開発 広告と販売促進
	商品開発	・市場に流通する様々な商品について、デザイン、機能・性能、コンセプト、知的財産権など、商品開発の視点で観察することができる。	・企業における商品開発の具体的な事例についてケーススタディなどを通して学び、商品開発の過程で実施された開発実験や商品テスト、デザインの工夫などを考察することができる。	・自ら考えた工夫・アイデアなどをレポートにまとめたり、外部機関と連携して商品企画に関する提案を行ったりすることができる。		
	広告と販売促進	・与えられたテーマをもとに、必要条件を満たした広告を製作することができる。	・ドローソフトウェアや動画編集ソフトウェアなどを活用して、用途に合った広告を製作することができる。	・自ら発見した課題に対する解決策を考え、レポートにまとめたり、外部機関と連携して実際の店舗に対して広告の提案を行ったりすることができる。		
		・基本的なビジネスマナーを身に付け、TPOをわきまえた対応を行うことができる。	・店舗・商品に適したディスプレイ方法や包装技術、顧客満足を考えた接客方法などに関する知識・技術を理解し、具体的な店舗や商品と関連付けて考察することができる。	・自ら発見した課題に対する解決策を考え、レポートにまとめたり、外部機関と連携して実際の店舗に対して店舗設計や販売方法などの提案を行ったりすることができる。		
ビジネス経済分野	ビジネス経済	・新聞、放送、インターネットなどを活用し、経済事象に関する適正な情報を収集することができる。	・市場経済の特徴、需要と供給の関係、価格決定の仕組み、経済成長と景気循環、我が国の経済政策の現状と課題など、基礎的な経済理論について理解し、具体的な経済事象と関連付けて考察することができる。	・具体的な経済事象について、課題を発見するとともに、解決策について考え、レポートにまとめたり、発表したりすることができる。	・具体的な経済事象について、課題を発見するとともに、解決策について外部機関へ発信したり、連携して取り組んだりして、実現化を目指した活動を行うことができる。	ビジネス基礎 課題研究 総合実践 ビジネス実務 ビジネス経済 ビジネス経済応用 経済活動と法
	ビジネス経済応用	・新聞、放送、インターネットなどを活用し、企業活動に関する適正な情報を収集することができる。	・産業構造の変化、経済の国際化、企業経営などについて理解し、具体的な経済事象や企業活動と関連付けて考察することができる。	・産業構造の変化、経済の国際化、企業経営などについて、身近な地域産業や新たなビジネスの機会と関連付けて考察し、レポートにまとめたり、発表したりすることができる。	・地域産業の振興やビジネスの創造などを主体的に行い、外部機関へ発信したり、連携して取り組んだりして、実現化を目指した活動ができる。	
	経済活動と法	・民法、商法、会社法などビジネスに必要な法規に関する基礎的な知識を習得し、具体的な経済事象について、法律的に考え判断することができる。		・実際にある企業を例にあげて、経営方法や事業実績などを分析することができる。 ・自治体や地域住民と連携して、地域の経済・経営・法律問題などの改善について検討することができる。		
			・具体的な経済事象について、法律的に考察し、課題の発見や解決の方法について、法的根拠を示しながら発表したり、討論したりすることができる。			

		★		★★	★★★	関連する 主な科目
		基礎	標準	応用	発展	
会計分野	① 簿記	<ul style="list-style-type: none"> ①簡単な取引を仕訳し、帳簿に記入することができる。 ①取引を特殊仕訳帳へ記帳できる。 ①3伝票制により取引を起票できる。 ②株式会社会計における取引を記帳することができる。 ④製品を製造するためにかかる費用を理解し、原価の三要素を答えることができる。 ④製造業における製造から販売までの一連の取引について記帳することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①本支店会計における支店会計が独立している場合の取引を行うことができる(内部取引を含まない。) ①コンピュータソフトウェアを利用した会計処理ができる。 ①5伝票制により取引を起票し、仕訳集計表を作成できる。 ②連結会計による、一括取得・支配権獲得日の仕訳ができる。 ④原価の3要素を種類によって分類することができる。 ④工場会計を独立させた場合の本社・工場間の取引を仕訳し、記帳することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③連結会計やキャッシュ・フロー会計など、進んだ会計実務にかかわる取引を記帳することができる。 ③連結会計の記帳(株式の追加取得、持分法による会計処理)ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③税効果会計や外貨換算会計などのさらに進んだ会計実務にかかわる取引を記帳することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス基礎 課題研究 総合実践 ビジネス実務
	② 財務会計Ⅰ					
	③ 財務会計Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ①個人企業にかかる取引を記帳することができる。 				
	④ 原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ①個人企業における勘定式の財務諸表(貸借対照表及び損益計算書)を作成することができる(決算整理事項を除く。) 	<ul style="list-style-type: none"> ①決算整理事項を処理し、財務諸表(貸借対照表及び損益計算書)を作成することができる。 ①本支店会計において、決算整理事項を処理し、財務諸表(貸借対照表及び損益計算書)を作成することができる。 			
	⑤ 管理会計					
	(注)学習のステップアップ 科目①→②→③ ①→④→⑤	<ul style="list-style-type: none"> ②報告式の貸借対照表及び損益計算書、株主資本など変動計算書を作成することができる。 ②連結会計による、子会社取得時点の連結財務諸表を作成することができる。 ②会計処理の種類及び必要性、新会計基準の動向について説明できる。 ④製造原価報告書の作成ができる。 ④実際原価計算による損益計算書の作成ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③連結会計やキャッシュ・フロー会計による財務諸表を作成することができる。 ③財務会計の概念と会計基準の概要について説明できる。 ③企業結合会計における合併後財務諸表を作成することができる。 ④標準原価計算による損益計算書の作成ができる。 ④直接原価計算による損益計算書の作成ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ③連結会計やキャッシュ・フロー会計による高度な財務諸表を作成することができる。 ⑤直接原価計算と全部原価計算における損益計算書を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤固定費調整を行うことができる。 	
	(注)学習のステップアップ	<ul style="list-style-type: none"> ④標準原価から実際原価を計算し、標準原価と比較・分析することができる。 				

		★		★★	★★★	関連する 主な科目
		基礎	標準	応用	発展	
会計分野		<ul style="list-style-type: none"> ②流動比率などの安全性分析や利益率などの収益性分析などの財務諸表分析を行うことができる。 ②企業の財務諸表分析の結果を受け、経営改善について検討することができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ③キャッシュ・フロー計算書や連結財務諸表(連結貸借対照表・連結損益計算書)の分析ができる。 		ビジネス基礎 課題研究 総合実践 ビジネス実務 簿記 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ 原価計算 管理会計
	① 簿記	<ul style="list-style-type: none"> ④原価率や利益率の計算を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ④製造業における一連の取引について記帳することができる。 			
	② 財務会計Ⅰ	<ul style="list-style-type: none"> ④材料費・労務費・経費の各費目別計算ができる。 				
	③ 財務会計Ⅱ	<ul style="list-style-type: none"> ④個別原価計算における原価計算表を作成することができる。 				
	④ 原価計算	<ul style="list-style-type: none"> ④標準原価計算により、完成品原価と月末仕掛品原価の計算ができる。 				
	⑤ 管理会計		<ul style="list-style-type: none"> ④総合原価計算における月末仕掛品原価を計算し、原価計算表を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ④度外視法により仕損と減損の計算ができる。 		
	(注)学習のステップアップ 科目①→②→③ ①→④→⑤	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた資料から、簡単なCVP分析ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ⑤CVP分析ができる(最適セールス・ミックスを計算することができる)。 ⑤費目別精査法・高低点法に基づく短期利益計画を立てることができる。 		
(注)学習のステップアップ 科目①→②→③ ①→④→⑤			<ul style="list-style-type: none"> ⑤直接原価計算や短期利益計画など、経営管理に必要な会計情報をもとに、基礎的な意思決定をすることができる。 			

		★		★★	★★★	関連する 主な科目
		基礎	標準	応用	発展	
ビジネス 情報 分野	①情報処理	<ul style="list-style-type: none"> ①依頼状、挨拶状、礼状の定型的な通信文書を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①表、グラフ、図形及び画像を効果的に用いて報告書、提案書、リーフレットなどを作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①文書作成、表計算、プレゼンテーションなどのソフトを活用して、研究大会などにおける発表資料やWebページでの情報発信などを行うための資料を作成することができる。 ②表計算ソフトウェアのプログラミング機能を活用して、一連の処理や操作の自動化を行うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域や企業に対して自ら課題を設定し、その改善策や新しい企画を提案するための資料を作成することができる。 	ビジネス基礎 課題研究 総合実践 ビジネス実務 情報処理 ビジネス情報 電子商取引 プログラミング ビジネス情報管理
	②ビジネス情報	<ul style="list-style-type: none"> ①統計、検索、論理などの基本的な関数を活用して、目的に応じた適切な表を表現することができる。 ①折れ線グラフ、棒グラフなど目的に応じて基本的なグラフを作成することができる。 ①図やグラフを活用して、簡単な発表資料を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①目的に応じて情報を整理・検索・抽出するとともに、データベース関数を活用して、データを検索・集計し、適切に表現することができる。 ①音声や動画など多様な機能を活用して、高度な要求に適切に対応したプレゼンテーション資料を作成することができる。 			
	(注)学習のステップアップ 科目①→科目②	<ul style="list-style-type: none"> ①情報が社会に与える大きさ等を理解し、個人情報の保護などに配慮しながら行動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①他人の著作物などを利用する場合、著作権者の許諾を得るなど正しく引用することができる。 			
	(注)学習のステップアップ 科目①→科目②	<ul style="list-style-type: none"> ②SQLを理解し、データベースを設計することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ②利用者にとって扱いやすいデータベースを設計することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ②大量のデータを効率的に運用・管理することができる。 		
	電子商取引	<ul style="list-style-type: none"> HTMLやXMLなどのマークアップ言語を活用して、Webページを制作することができる。 電子商取引システムを活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> Webデザインソフトウェアを活用して、用途に合ったWebページを制作することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> FlashやJavascriptなどを利用して、CSSの設定や複雑な構造のWebページを制作することができる。 文書作成、表計算、プレゼンテーション、その他のソフトを活用して、地域や企業に対して提案したり、研究大会などで発表したり、Webページで情報発信したりするための資料を作成することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> コンセプトに沿ったWebページを作成し、企業に提案することができる。 	
	プログラミング	<ul style="list-style-type: none"> 流れ図を作成することができる。 				
ビジネス情報管理	<ul style="list-style-type: none"> システム運用管理者の役割について理解し、情報技術全般に関する基本的な事項を理解し、活用できる。 					